

バイバイ、またね！旅立ちの春！ 関内小学校サケ稚魚放流

3月25日、関内小学校の全児童5名が、地元を流れる関内川にサケの稚魚約11,000匹を放流しました。

関内小では、自然や命の尊さを学んでもらおうと毎年秋にサケの卵の人工授精を行い、孵化した稚魚を冬の間、餌やりや水温管理をしながら大切に育てています。

児童たちは4～5cmに成長した稚魚をバケツで静かに川に放流し、元気よく泳ぎだす稚魚たちに「バイバイ」「またね」と旅立ちを見届けました。

入学時からサケの放流に参加し、今年卒業する6年生の南部柚葉(ゆずは)さんは「最後の放流で寂しいけど、サケが大きくなってまた戻ってくるのを楽しみにしています」と話していました。



小学生 今日も元気に登校！ 新入学期の交通安全 街頭啓発

4月10日、新入学期の安全旬間の取り組みとして、警察や役場、教育委員会、町内会等関係者ら約30人により、八雲郵便局前交差点にて、交通安全街頭指導や、通勤する車などに対し旗の波作戦で交通安全を呼び掛けました。

今年の春に入学したばかりの新一年生も、お兄さん、お姉さん達が登校している背中を見ながら、元気に登校している姿が印象的でした。



きらきら万華鏡、何が見えるかな？ おたのしみ工作会

4月11日、八雲町立図書館で、図書館主催のおたのしみ工作会が開催され、約30名の子どもや保護者らが参加しました。工作会では、子どもたちはお母さんやお父さん、友達と一緒にビーズなどの材料を選んだり、相談しながら組み立てたり、万華鏡を覗いてみたりと、和気あいあいとした雰囲気の中、工作づくりを行いました。参加した築田舞ちゃん(5才)は「上手くできた。万華鏡づくりは楽しい！」とお母さんと一緒に万華鏡にかわいい絵を一生懸命描いて楽しんでいました。



健康・安心・元気を学ぶ！ はっぴい♪街なか保健室

4月14日、はぴあ八雲にて、はっぴい♪街なか保健室が開催されました。ミニ講座は「認知症予防と予防のためのレクリエーション」をテーマに開催しました。認知症防止のための生活のしかたを紹介したり、脳を活性化させる簡単な手遊びや歌を交えたゲームを行ったりと、笑い声が絶えない楽しい講演となりました。

参加者は「健康相談が出来る場が近くにあると通いやすい。また、来たい」と講演を楽しんでいました。

